

# 東松島市地域公共交通網形成計画【概要版】

平成29年11月

## 1. 策定の趣旨

本市では鉄道、デマンド型乗合タクシー「らくらく号」をはじめとして、「震災無料循環バス」やタクシー、スクールバスなど、複数の交通サービスが運行しています。

平成23年3月に発生した東日本大震災からの復旧・復興事業の進捗により、まちが大きく変化しており、また高齢化の進展による交通弱者の増加が見込まれることから、移動手段の確保等による検討が必要となっており、公共交通ネットワークの見直し・再編が必要な状況にあります。

将来的に持続可能な公共交通を構築するため、本市の特性や市民ニーズ等を踏まえた、まちづくりと連携した公共交通の基本的な方針と施策体系を示す「東松島市地域公共交通網形成計画」を策定します。

## 2. 東松島市の公共交通における課題

既存データ等による現況の整理や各種調査の実施により、本市の地域特性及び公共交通の実態を把握し、それらの取りまとめ結果を総合的に分析し、本市の公共交通における課題を下記のとおり整理しました。

### 東松島市の公共交通における7つの課題

### キーワード

課題	内容	キーワード
課題1 「復興まちづくり」の進捗に対応した 持続可能な交通体系の構築	<ul style="list-style-type: none"><li>復興事業の進捗に伴い、「まちづくり」と一体となった「地域公共交通ネットワークの形成・再編」が課題。</li><li>震災以降、仮設住宅や防災集団移転事業等による需給バランスが変化しており、現状・将来を見据えたサービス水準の見直しが課題。</li></ul>	仮設住宅の終了/災害公営住宅の完成/ 防災集団移転事業/ 人口構造が変化
課題2 人口減少・高齢化に対応した 最低限のお出かけ機会の確保	<ul style="list-style-type: none"><li>人口減少・高齢化が進展しており、また、内陸部への転居が増加したため市内の人口分布・構成が大きく変化。</li><li>高齢者を含めた市民の自家用車依存率は高く、免許返納後、バス停まで歩けない等の問題が想定される。</li><li>買物・通院等、必要最低限のお出かけ機会の提供が課題。</li></ul>	少子高齢化/ 免許返納増加
課題3 地域特性に沿った生活圏形成を踏まえた 市民協働の交通システム	<ul style="list-style-type: none"><li>隣接市町を含めた生活圏形成が地域によって発生しており、地域公共交通網形成には、各地域との財政負担調整等、協議・調整が必要となる場合が想定される。</li><li>行政の財政負担、交通事業者の営業努力だけでは、地域公共交通の維持・確保は困難。住民等、多様な主体との連携・協働が必要。</li></ul>	地域特性に応じた 交通サービス
課題4 主要な交通モードが 有機的に繋がっていないため、 利用者ニーズとミスマッチ	<ul style="list-style-type: none"><li>デマンドタクシー・鉄道等の交通モードが存在するが、定時性が弱い交通モードもあり、乗り継ぎ（ダイヤ・ルート等）が一部図れていない。</li><li>また、高齢者・学生の利用目的・ニーズに対応した交通モード間の連携が十分に図られていない。</li></ul>	公共交通ネットワーク
課題5 地域公共交通の利用の 情報提供・案内が不十分	<ul style="list-style-type: none"><li>公共交通がどのように運行しているか分からない市民が存在。</li><li>公共交通の経路・運行時刻・ダイヤ等の情報提供が不十分。市民アンケートでも「わかりやすければ利用する」との回答があり、利用してもらうためには情報提供の見直し・改善が必要。</li></ul>	公共交通についての 情報発信
課題6 国の支援見直し・利用者の減少に伴い、 持続可能な交通運営	<ul style="list-style-type: none"><li>復興重点期間の終了に伴い、国の復興関連支援等の見直しが想定され、地域で自立した持続可能な交通体系の構築が急務。</li><li>人口減少・分布の変化、全国的な問題でもある運転手の担い手不足から、利用者が減少している交通機関が発生。</li><li>行政・交通事業者だけで地域公共交通の維持・確保は困難。</li></ul>	公共交通の再編/ 市民協働による持続 可能な運営
課題7 防災・福祉・観光振興等と 整合・連携した事業推進体制	<ul style="list-style-type: none"><li>東日本大震災の教訓、環境未来都市構想との整合という視点から「災害に強く・環境にやさしい交通手段の確保」を目指す。</li><li>観光客の周遊を促すことも目的とすることから、奥松島周辺をはじめとした観光需要に対応した交通サービスの提供が必要。</li></ul>	災害時対応/ 観光を後押し

課題解決に向けた方針・  
基本目標・プロジェクト

# 3. 東松島市が目指す公共交通の将来像

本市の公共交通における現状と課題を踏まえ、将来的に持続可能な公共交通の維持・確保に向け、本計画における基本方針(目指す公共交通の将来像)を定めます。

## 基本方針

### 地域と人を交通で繋ぎ、「まち」を一つにする交通体系の構築

～鉄道を幹線とし、地域に合わせた交通を接続することで「コンパクト+ネットワーク」を実現します～

#### 基本目標

##### 基本目標 1

「復興」を支え、「まちづくり」と連動・整合を図る

##### 施策の方向性

- 公共交通ネットワークの再編
- 主要拠点間の連携強化
- まちづくり・観光等と連携した取組の実施

##### 基本目標 2

誰もが利用しやすく・わかりやすい交通環境づくり

##### 施策の方向性

- 市民協働の公共交通運営に向けた取り組み
- 多様な主体と連携した交通サービスの展開
- 住民が中心となった交通環境の改善

##### 基本目標 3

地域特性に応じた交通手段・サービスの提供

##### 施策の方向性

- 需要に適したサービスの展開
- 交通弱者に対応したサービスの検討
- 既存交通資源の活用

##### 基本目標 4

市民協働による持続可能な交通の仕組みづくり

##### 施策の方向性

- 待ち合い環境・乗継環境の改善・機能向上
- 案内・情報発信の充実
- 効率的な運行体系の構築
- 利用促進策の展開

#### プロジェクト・施策

##### プロジェクト①

復興を先導する交通体系・交通拠点づくり

**施策①-1** 公共交通再編による利便性向上

**施策①-2** 仮設住宅等の復興進捗に伴った運行改善

**施策①-3** 観光利用にも対応する交通サービスの導入

**施策①-4** 接続性向上のための乗継拠点の強化

##### プロジェクト②

誰でも安心して公共交通を利用するための情報提供

**施策②-1** 公共交通マップ情報提供ツールの作成

**施策②-2** 運行情報・主要乗降場所の情報案内実施

**施策②-3** 公共交通サービスの具体的な情報発信

##### プロジェクト③

利用したいと思える快適な交通環境づくり

**施策③-1** 運賃体系の見直し・再編

**施策③-2** 利用状況に合わせた乗降箇所・ダイヤ等の見直し

**施策③-3** 乗降しやすく環境に貢献する車両の導入

##### プロジェクト④

多様な主体との協働で「育てる」公共交通の仕組みづくり

**施策④-1** 地域での「育てる公共交通」の場づくり

**施策④-2** 地域による「育てる公共交通」の実践・普及

**施策④-3** PDCAに基づく「改善」成果の見える化

## 地域公共交通の見直し・再編の方向性

### らくらく号

#### ●2種類の運行形態を導入し、市内エリア別のサービス体系を構築

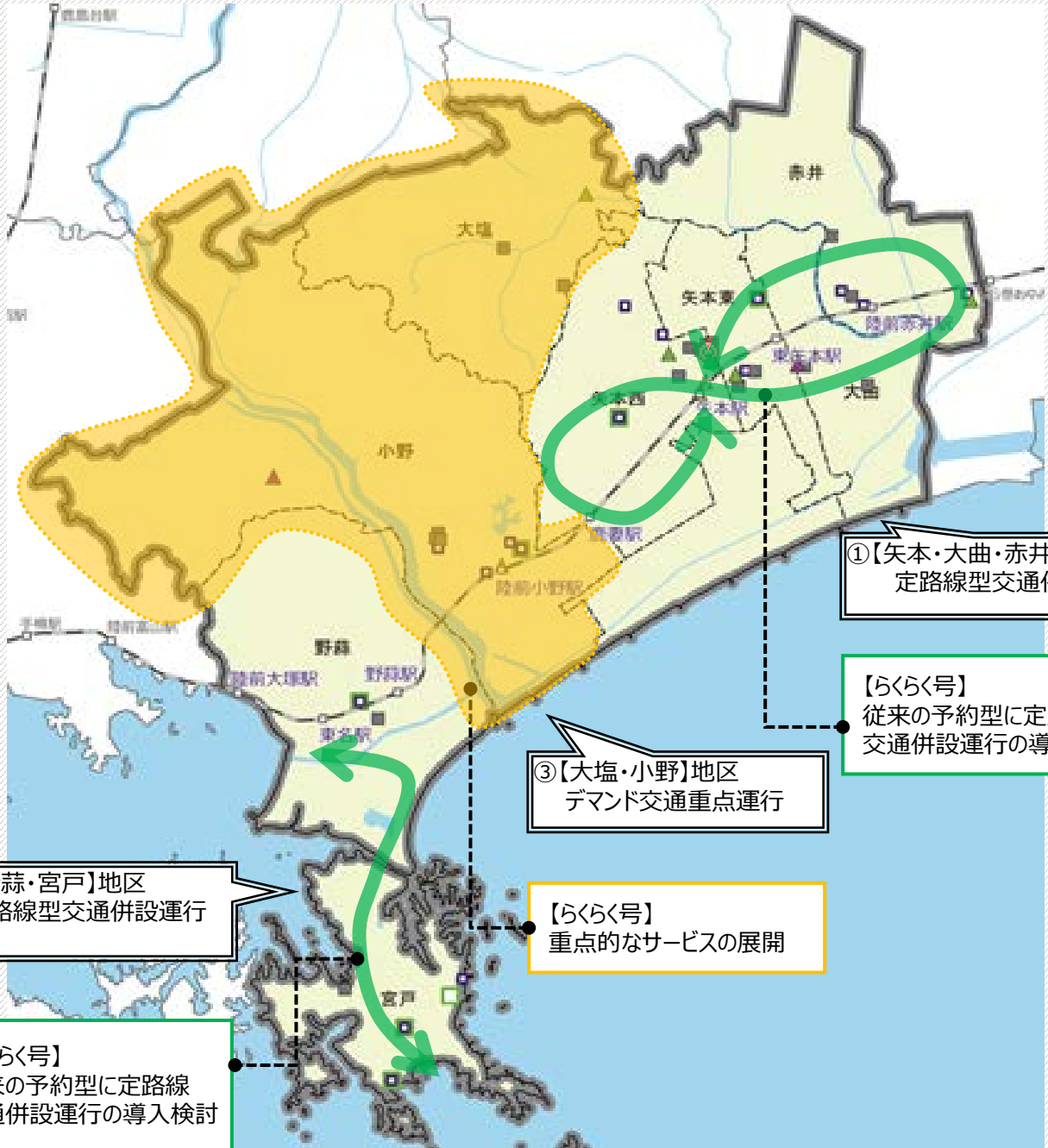
地域別の需要特性や、定路線型運行との役割分担を踏まえ、地域の特性・需要に合った交通体系への見直し・再編の検討

①矢本・大曲・赤井地区……定路線交通併設運行:震災無料循環バスからの転換に沿った、交通資源確保の検討

②野蒜・宮戸地区……定路線交通併設運行:生活交通を基本とし、観光交通も兼ね備えた予約型・定路線型併設運行検討

③大塩・小野地区……予約型交通サービスの向上:現行のサービス水準に見直しをかけ、利便性の向上の検討

# 交通ネットワークの将来イメージ



①【矢本・大曲・赤井】地区  
定路線型交通併設運行

【らくらく号】  
従来の予約型に定路線型  
交通併設運行の導入検討

③【大塩・小野】地区  
デマンド交通重点運行

【らくらく号】  
重点的なサービスの展開

②【野蒜・宮戸】地区  
定路線型交通併設運行

【らくらく号】  
従来の予約型に定路線  
交通併設運行の導入検討

**【交通網形成に向けた検討ポイント】**

- ◆デマンド型乗合タクシーらくらく号のエリア別運行形態見直し
  - 1.重点エリア：デマンド運行形態の強化
  - 2.通常エリア：自宅⇔設定乗降箇所の検討
- ◆まちの発展に合わせた地域別交通  
(野蒜周辺のまちびらきに合わせた観光交通等)
  - 1.震災無料循環バスの中心市街地運行への見直し
  - 2.震災無料循環バスの地域によるコミュニティバス化 等  
⇒らくらく号の定時定路線型等への切り替え検討 (有償化)

**【市全体に係る共通施策】**

- ・災害公営住宅等に配慮したデマンド型乗合タクシー、定路線型交通の運行導入検討・改善
- ・公共交通マップ(市全体・地区版)の作成、バス案内所の設置
- ・鉄道・タクシー等が連携したサービスの提供
- ・地域割引サービスの導入等、新たな運賃体系の構築
- ・鉄道に合わせたらくらく号の時間帯・ダイヤ調整
- ・企画乗車券・乗継割引等による、乗継抵抗の解消

震災無料循環バス	鉄道	一般タクシー
<p>●サービス体系の転換</p> <p>実証実験を行ったうえで、有償サービスで運行するらくらく号と統合検討を行い、らくらく号の定路線型運行の交通サービスとしての運行転換を検討する。</p>	<p>●本市の広域幹線交通として維持・確保</p> <p>他の交通サービスとの連携強化、パーク&amp;ライド化、待合室の環境整備等、拠点性の向上を図ることを検討する。</p>	<p>●観光活用等含めた幅広い場面での活用</p> <p>生活交通だけでなく、観光での活用を想定したサービスのさらなる発展を目指し、観光客の市内回遊性の向上を図ることを検討する。</p>

## 4. 目標の達成するための施策・事業

基本方針及び公共交通の将来像の実現、基本目標の達成に向けて、市民・交通事業者・行政等の各主体が連携し、施策・事業を展開・実施します。

### プロジェクト① 復興を先導する交通体系・交通拠点づくり

本市の復興事業の進展を見据え、地域の暮らしやすさ、魅力の向上に寄与するような交通体系の実現を目指し、公共交通ネットワーク及び交通拠点の構築を図るものとします。

#### 施策①-1 公共交通再編による利便性向上

震災無料循環バスを現状のニーズや利用実態に合わせて見直し・再編を行うものとします。

1. 震災無料循環バス(東循環・西循環)の見直し・再編検討

#### 施策①-2 仮設住宅等の復興進捗に伴った運行改善

らくらく号も見直し・再編を図り、市全体で包括的な公共交通サービスの「再構築」を図るものとします。

1. デマンド型乗合タクシー「らくらく号」の見直し・再編検討

#### 施策①-3 観光利用にも対応する交通サービスの導入

宮戸便においては、観光二次交通の活用を含めた運行体系の見直し・再編を行うものとします。

1. 震災無料循環バス(宮戸便)等の見直し・再編検討

#### 施策①-4 接続性向上のための乗継拠点の強化

主要な鉄道駅において、乗り入れ等により鉄道と地域内交通サービスの接続性の向上を図るものとします。

1. 主要な鉄道駅へ乗り入れ・交通結節機能の向上の検討

### プロジェクト② 誰でも安心して公共交通を利用するための情報提供

既存の情報発信方法に見直しを掛けて改善を行い、公共交通の情報が住民・来訪者にしっかりと周知され、安心してわかりやすく利用できるような環境構築を図ります。

#### 施策②-1 公共交通マップ情報提供ツールの作成

安心して公共交通を利用できるよう、市全体の公共交通の運行内容や利用案内を掲載したマップを作成し、インターネット・SNS・QRコード等を活用して情報発信を行い、周知を図るものとします。

1. 市全体の公共交通マップの作成
2. インターネット・SNS・QRコード等を活用した情報発信の検討

#### 施策②-2 運行情報・主要乗降場所の情報案内実施

主要な鉄道駅・観光拠点等において、案内・標識等の充実を図り、どの公共交通を利用すれば・どこに行くことができ・どのくらい費用が掛かるのか等がわかるよう、情報提供の改善を行うものとします。

1. 主要な交通結節点におけるわかりやすい案内・標識等の整備の検討

#### 施策②-3 公共交通サービスの具体的な情報発信

住民が頻繁に目を通す機会がある市の広報誌や回覧等による定期的な情報発信、公共交通を紹介する冊子を作成し、移住者や高齢者に配布することにより、市内における情報周知の充実化を図るものとします。

1. 広報誌・回覧等を活用した情報発信
2. 移住者・高齢者を対象としたツール提供の検討

## プロジェクト③ 利用したいと思える快適な交通環境づくり

公共交通の利用環境(接続性、待ち合い環境、料金等)を見直し、誰でも安心して・快適に公共交通を利用できるような環境改善を行うものとします。

### 施策③-1 運賃体系の見直し・再編

無料で運行する震災無料循環バスにおいて、有償で運行するらくらく号への転換に伴うサービス水準の向上により、一定の受益者負担を含めた運賃体系の見直しを図るものとします。

1. 震災無料循環バス・らくらく号の運賃体系の見直し検討

### 施策③-2 利用状況に合わせた乗降箇所・ダイヤ等の見直し

震災無料循環バス・らくらく号における運行体系の再編に伴い、利用実態や住民ニーズ、まちづくり等を踏まえ、停車箇所や運行ダイヤ等に見直しを掛け、利便性の向上を図るものとします。

1. 震災無料循環バス・らくらく号の運行ダイヤの見直し検討
2. 震災無料循環バス・らくらく号の停車箇所等の見直し検討

### 施策③-3 乗降しやすく環境に貢献する車両の導入

高齢者においても利用しやすい交通環境の確保に向け、タクシー等においてバリアフリー・ユニバーサルデザイン等に対応した車両の導入を推進するものとします。

1. タクシー車両におけるユニバーサルデザインタクシーの導入推進

## プロジェクト④ 市民協働による持続可能な交通の仕組みづくり

市民が主役となり、様々な主体と連携・協働しながら、自分たちの地域の「足」について各地域で検討し、施策・事業を展開することで、自らの「足」を支える体制を構築します。

### 施策④-1 地域での「育てる公共交通」の場づくり

持続可能な公共交通の維持・確保を可能とする市民協働の体制づくりのため、まずは公共交通について考える「場」を設け、住民の公共交通に対する意識の醸成を図ります。

1. 公共交通について考える懇談会・検討会・シンポジウム等の開催

### 施策④-2 地域による「育てる公共交通」の実践・普及

市民意識の醸成が図られた後、地域と協働し公共交通を支え・維持する仕組みづくりや、地域が主体となって行政・交通事業者とともに交通サービスを展開する体制づくりを検討します。

1. 地域と協働した公共交通を支える仕組みづくりの検討

### 施策④-3 PDCAに基づく「改善」成果の見える化

施策・事業を実施する上ではPDCAサイクルの考えのもと推進するとともに、WEB上でオープンに進捗・達成度合いを把握し、効果検証できる環境を整備し、成果の「見える」化を図ります。

1. WEB等を活用した成果の「見える」化の検討

# プロジェクト① 復興を先導する交通体系・交通拠点づくり

## 施策①-1 公共交通再編による利便性向上

### ■「震災無料循環バス」の見直し・再編

- 仮設住宅から防災集団移転等により、災害公営住宅等への転居が進んでいることから、現状からの転換・運行体系の見直しを図る。
- 通院・買い物等の生活需要対応の路線として、主要駅と災害公営住宅等の生活拠点を結ぶ定時定路線型・有償で運行することを想定・検討を行う。
- らくらく号との役割分担を明確にし、市全体で効率的な交通体系を構築することを検討する。



まちづくりの考えと整合を図りつつ中心市街地における主要な拠点間を結ぶ

概要	項目
運行形態	定時定路線型
運賃体系	有償※定額制を想定
経由	主要駅、災害公営住宅等の生活拠点
特性	主に生活需要対応の路線として運行し、通院・買い物等の移動手段として確保

▲運行概要イメージ

▲震災無料循環バス(東循環・西循環)の見直しイメージ

## 施策①-2 仮設住宅等の復興進捗に伴った運行改善

### ■「らくらく号」の見直し・再編

- 震災無料循環バスの再編に合わせ、現行の予約型デマンド交通サービスにおいても見直し・再編を検討する。予約型運行と定路線型運行との役割分担を明確にするものとする。
- 地区ごとに異なる特性・移動需要・需要総量を踏まえ、市を3つにゾーン分け※して地区別に再編方針を設定し、実態に合った効率的な運行体系の構築を図るものとする。

※3つのゾーン

- ①矢本・大曲・赤井地区 ②野蒜・宮戸地区 ③大塩・小野地区



▲地区別再編イメージ

- ①【矢本・大曲・赤井地区】  
⇒定路線型・予約型併設運行  
予約型：運行時間を調整
- ②【野蒜・宮戸地区】  
⇒定路線型・予約型併設運行  
予約型、観光等定路線型で対応
- ③【大塩・小野地区】  
⇒予約型重点運行  
希望目的地への運行を検討

## 施策①-3 観光利用にも対応する交通サービスの導入

### ■震災無料循環バス「宮戸便」の見直し・再編

- 震災無料循環バス(東循環・西循環)の見直し・再編を踏まえ、宮戸便も再編を検討するものとする。
- 野蒜・宮戸地区は、本市の観光拠点であり、観光振興等の視点を追加した検討が必要である。
- そのため観光客における二次交通としての役割を重点的に付加し、東名駅・野蒜駅から奥松島各拠点を結び、機能性向上を図るものとする。



概要	項目
運行形態	定時定路線型
運賃体系	有償※定額制を想定
経由	東名駅・野蒜駅～奥松島各拠点
特性	生活交通を基本としつつ、観光交通として観光客の移動手段を確保

▲運行概要イメージ

◀宮戸便の見直しイメージ

## 施策①-4 接続性向上のための乗継拠点の強化

### ■主要な鉄道駅へ乗り入れ・交通結節機能の向上

- らくらく号等の地域内交通は、市内唯一の広域幹線軸・地域間幹線軸である鉄道駅との接続性向上を図るものとする。
- 現状の震災無料循環バスは野蒜駅や東名駅等への乗り入れは実施しているものの、矢本駅や東矢本駅等には乗り入れ・接続していない。
- そのため震災無料循環バスの再編に伴い、主要駅への乗り入れ・接続の検討を行うものとする。



矢本駅 乗り入れが可能なロータリー



既存の環境整備等を活用し、乗り入れ・接続環境の整備を図る。

矢本駅のバスロータリー

▲乗り入れ環境の整備イメージ

# プロジェクト② 誰でも安心して公共交通を利用するための情報提供

## 施策②-1 公共交通マップ情報提供ツールの作成

### ■市全体の公共交通マップの作成

- 公共交通の周知・PRを行う「ツール」として、市内の公共交通マップを作成する。
- 本市の公共交通が一体的にわかり、乗り方解説、観光案内等、利用を促すような情報も記載する。

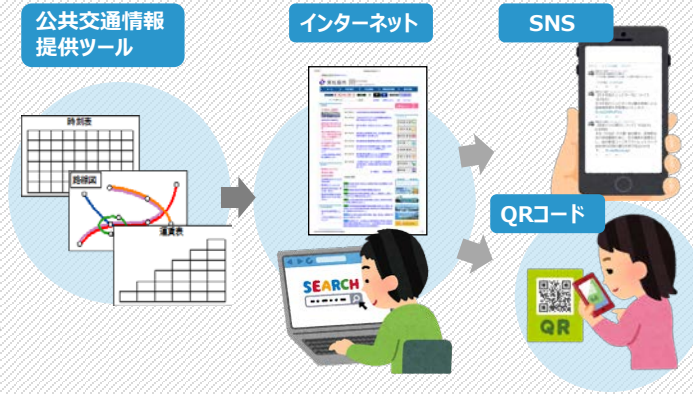


▲「バスさんぽ」(青森県八戸市)

▲公共交通マップ(宮城県多賀城市)

### ■インターネット・SNS・QRコード等の活用

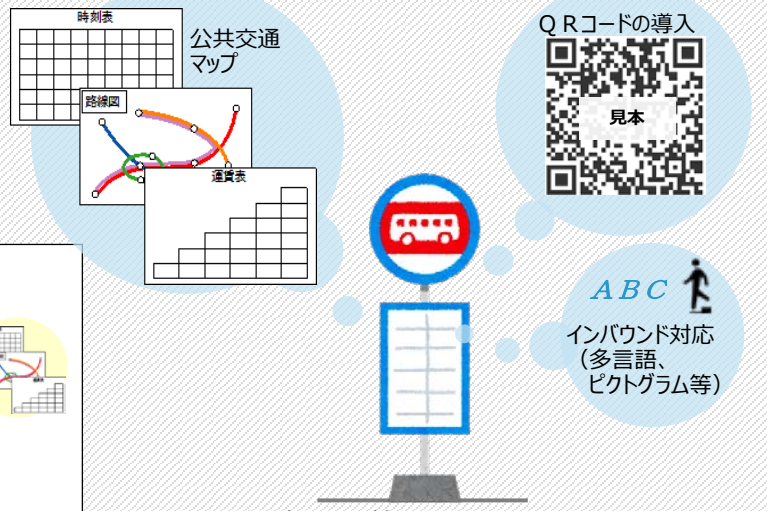
- リアルタイムで大量の情報を発信できるインターネットを活用して、情報案内の改善検討を行う。
- SNSや、QRコードの活用等も段階的に検討を行うものとする。



## 施策②-2 運行情報・主要乗降場所の情報案内実施

### ■主要な交通結節点における案内・標識の改善

- 駅や主要施設前等、交通結節点でのバス案内機能を強化を図るものとする。
- 交通結節点におけるバスマップの掲示、チラシの設置等や、バス停におけるわかりやすい案内標記、QRコード記載等の検討を行うものとする。



▲バス停 案内情報の充実化のイメージ

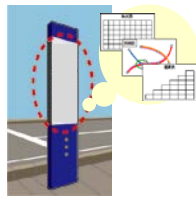
### 交通結節点における案内情報充実化 (案)

#### ■バス停の案内情報充実化

- 案内標記を見やすいように改善
- QRコード等の活用、多言語化を実施

#### ■交通結節点における案内情報充実化

- 公共交通の情報提供ツールを配備
- 施設間の移動案内の設置



## 施策②-3 公共交通サービスの具体的な情報発信

### ■広報誌・回覧等を活用した情報発信

- 広報誌や回覧板の紙媒体による、定期的な情報発信を行い、周知を図る。
- 同時に、公共交通に関する住民意識の醸成を図るものとする。



▲「広報ひがしまつしま」

- 公共交通情報
- 運行実績
- コラム
- 意見等 を掲載

### ■移住者・高齢者を対象としたツール提供

- 公共交通を紹介する冊子等を作成する。
- 移住者や、高齢者等を対象に提供し、公共交通の存在を知ってもらい、利用してもらえるようにする。



▲二次交通紹介冊子 (青森県八戸市)

# プロジェクト③ 利用したいと思える快適な交通環境づくり

## 施策③-1 運賃体系の見直し・再編

### ■ 震災無料循環バス・らくらく号の運賃体系の見直し

- 震災無料循環バス及びらくらく号の再編に伴い、運賃体系及び支払い方法の見直し検討を行うものとする。
- 震災無料循環バスをらくらく号へ運行転換した場合、有償化を検討し、また利用者のわかりやすさ確保のため、定額制の導入検討を行うものとする。

※H29年3月現在 らくらく号のチケット販売について

- チケットは市内の商店・商業施設等での事前購入が必須であり、車内で購入することが出来ないことに対する改善を求める声が上がっている。
- 現金払いや車内販売を含めた運賃の支払い方法について交通事業者と協議・調整を進める必要がある。

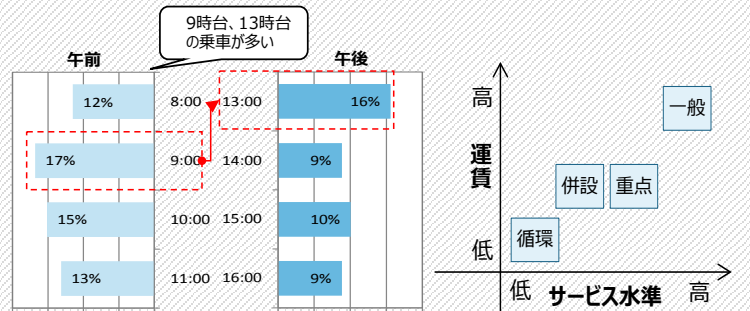
▼ 料金体系の見直し概要（イメージ）

項目	震災無料循環バス	らくらく号
再編方針	らくらく号の定路線型サービスへ転換	予約制サービスを一部地域で重点化
運賃	有料化	一律300円（地域外:600円）からサービス見直しに伴い再設定
支払方法	現金・定期券・チケット等	チケット制から現金でも支払い可能にする

## 施策③-2 利用状況に合わせた乗降箇所・ダイヤ等の見直し

### ■ 震災無料循環バス・らくらく号の運行ダイヤの見直し

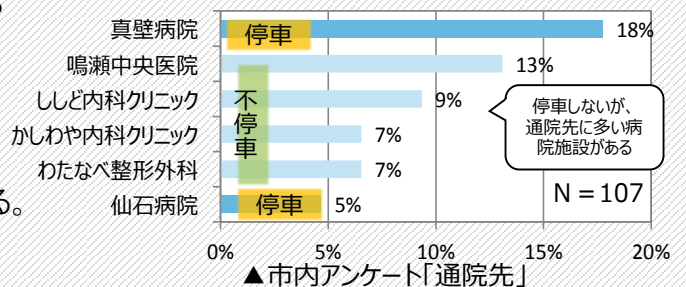
- 利用者の日常生活の移動実態に合った運行体系の構築検討を行うものとする。
- 時間帯別の需要に応じて便数を調整する等により、効率的な時間設定を行うものとする。
- 運行ダイヤは、鉄道との乗り継ぎを考慮した設定の検討を実施する。



### ■ 震災無料循環バス・らくらく号の停車箇所等の見直し

- 震災無料循環バス等の市内交通は、矢本駅等や市役所等の主要施設等への接続を検討する。
- らくらく号は、目的地となる指定停留所を設定し、一般タクシー等との役割分担を行う。
- 交通が不便なエリアにおいては、自宅から希望目的地まで運行する乗合サービスの強化を検討する。

▲らくらく号の時間帯別平均利用者数 ▲4つの交通サービスの比較



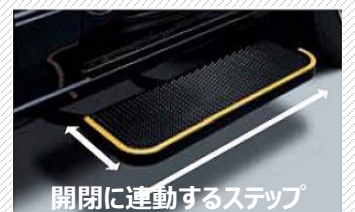
## 施策③-3 乗降しやすく環境に貢献する車両の導入

### ■ バリアフリー・ユニバーサルデザイン車両の導入

- 交通事業者が新たに車両を導入する際には、バリアフリー・ユニバーサルデザインに対応した車両の導入を推進し、高齢者が敬遠する事無く利用できるようにする。

#### ■ UDタクシーの概要

ユニバーサルデザインタクシー（UDタクシー）とは、足腰の弱い高齢者、車椅子使用者、ベビーカー利用の親子連れ、妊娠中の方など、誰もが利用しやすい「みんなにやさしい新しいタクシー車両」のこと。





# プロジェクト④ 市民協働による持続可能な交通の仕組みづくり

## 施策④-1 地域での「育てる公共交通」の場づくり

### ■公共交通について考える場の提供

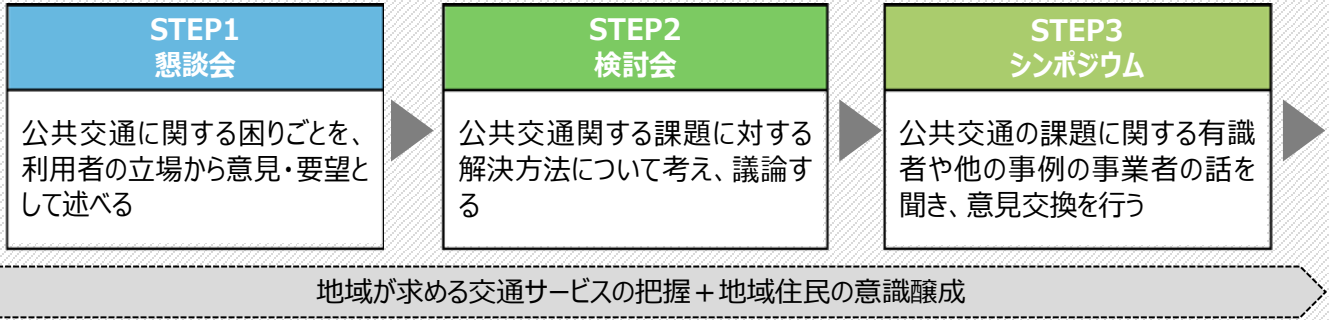
- 将来的に持続可能な公共交通を維持・確保するため、地域や住民等を巻き込んで、市全体で取り組み、支える体制づくりを行うものとする。
- 第一段階として、公共交通に対する「市民意識の醸成」、「地域の担い手の育成」に向け、公共交通について考える「場」を設ける。



**参加者のメンバー構成（イメージ）**

- 各地区まちづくり協議会
- 鉄道・タクシー事業の実務担当者
- 観光案内所スタッフ
- NPO法人職員
- 地域公共交通会議公募委員
- 学識経験者
- 市役所職員

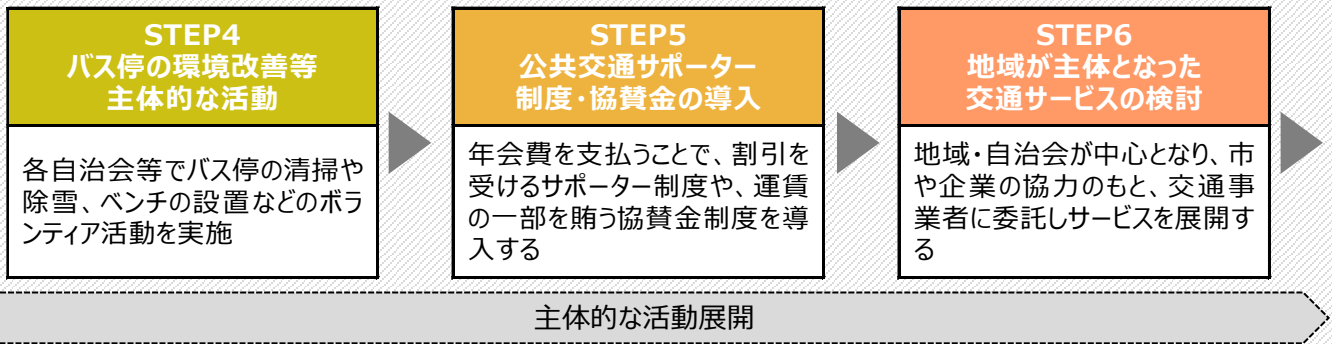
（復興、都市、福祉、観光等の担当者）等



## 施策④-2 地域による「育てる公共交通」の実践・普及

### ■地域と協働した公共交通を支える仕組みづくり

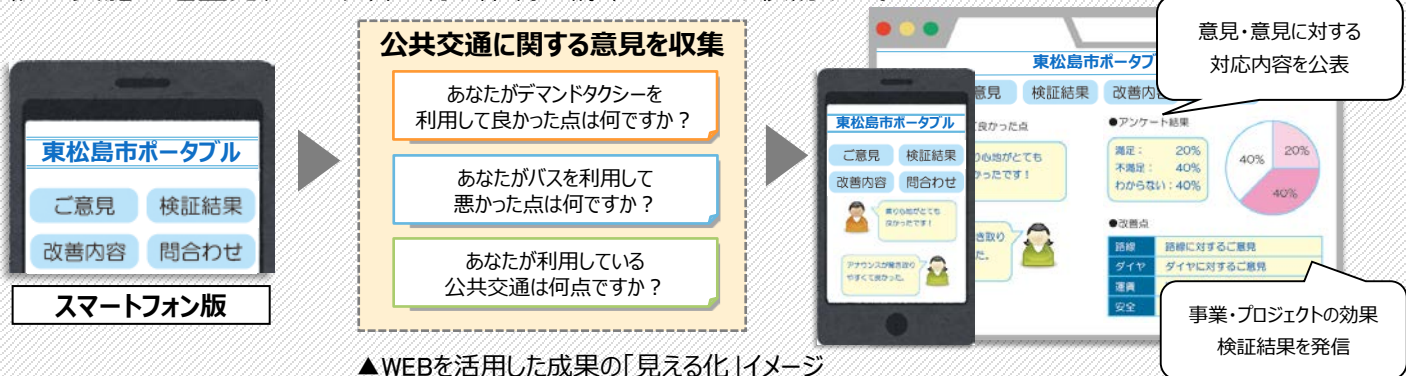
- 市民意識の醸成が図られた後の第二段階として、地域と協働し公共交通を支え・維持する仕組みづくりや、地域が主体となって行政・交通事業者とともに交通サービスを展開する体制づくりを検討する。



## 施策④-3 PDCAに基づく「改善」成果の見える化

### ■WEB等を活用した成果の「見える」化

- 施策・事業を実施する上ではPDCAサイクルの考えのもと推進する。
- WEB上でオープンに進捗・達成度合いを把握し、効果検証できる環境を整備し、成果の「見える」化を検討する。
- 「見える化」により、様々な主体の連携・協働により施策・事業を進める上で、それぞれが自発的に効果検証の実施や適宜見直し・改善を行う体制を構築できるよう検討する。



## 5. 基本目標の達成をはかる指標・数値目標の設定

施策・事業の実施により、基本目標の達成度合いを図るため、指標及び数値目標を設定します。  
数値目標については、計画終了年度の平成33年度における達成を目標とし、途中年度におけるモニタリング等の実施により、事業の進捗管理を行います。

### 指標・数値目標

基本目標	指標	現況値 (H27)	目標値 (H33)
«基本目標 1» 「復興」を支え、「まちづくり」と連動・整合を図る	災害公営住宅の公共交通利用率	67.3%	<b>75.0%</b>
	公共交通の乗り継ぎ利用率(矢本駅)の向上	3.7%	<b>5.0%</b>
«基本目標 2» 誰もが利用しやすく・わかりやすい交通環境づくり	公共交通認知度の向上	90.6%	<b>92.0%</b>
	公共交通満足度の改善	9.0%	<b>15.0%</b>
«基本目標 3» 地域特性に応じた交通手段・サービスの提供	公共交通利用による市内施設(市役所)利用率の向上	2.2%	<b>4.0%</b>
	公共交通に対する市民の満足度	42.2%	<b>43.0%</b>
«基本目標 4» 市民協働による持続可能な交通の仕組みづくり	公共交通利用促進取り組み件数(懇談会等の開催回数)	0件	<b>3件</b>
	地域別交通計画の検討件数(懇談会等の開催回数)	0件	<b>8件</b>

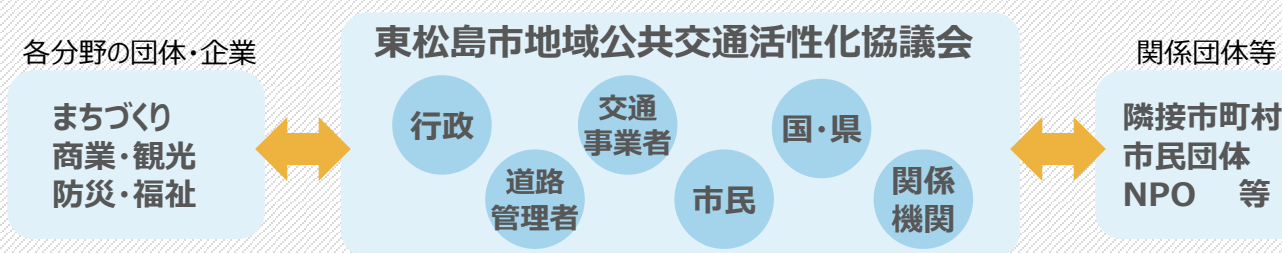
## 6. 計画の期間と推進体制

本計画は平成29年度から平成33年度までの5年間で計画期間として設定し、上位計画である「東松島市第2次総合計画」が後期計画へ移行した次年度において、計画の見直し・モニタリングを実施します。また、本計画については市民や交通事業者、国・県・市により構成される公共交通活性化協議会において事業の進捗管理及び効果測定等の管理を行うとともに、各主体との連携により着実な事業の実施を図ります。

### 計画の期間

項目	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
東松島市 第2次総合計画	東松島市第2次東総合計画 基本構想 (H28~H37)								
	前期計画 (H28~H32)				後期計画 (H33~H37)				
東松島市 地域公共交通網 形成計画	東松島市地域公共交通網 形成計画 (H29~H33)					次期計画			
					計画 見直し	計画 改定			

### 推進体制



策定 平成29年11月

編集 東松島市地域公共交通活性化協議会 事務局 (東松島市 復興政策部 復興政策課)

〒981-0503 宮城県東松島市矢本字上河戸36番地1

TEL:0225-82-1111 FAX:0225-82-8143





**東松島市地域公共交通活性化協議会 事務局**  
**(東松島市 復興政策部 復興政策課)**